

MAR. 2026

No. 120

校報

Nihon University Mishima
Senior & Junior High School



中学
一年生



中学
二年生



中学
三年生



高校
一年生



高校
二年生



高校
三年生

日本大学三島高等学校・中学校

【対応する力 ～変化の激しい時代と向き合うために～】



日本大学三島高等学校・中学校
校長 竹中朝崇

2026年1月元日。新年の幕開けは実家でのんびりと過ごすことということで、天気は曇りがちではありましたが、静かに穏やかなスタートを迎えることができほっとしていました。ところが、1月半ばを迎える頃には国内では急きょ国政選挙を行うことが決まり、国際情勢はアメリカの動静により騒がしくなりました。今の世界は落ち着く間もなく、いろいろなことが変わっていき、ルールまで変えられようとしていると実感しています。2020年代の後半はどのような世界が形成されることになるのでしょうか。

日本は世界の流れと異なる事象があります。それは少子高齢化が進行していることです。現在、日本の人口は減少傾向にあり、中でも統計上15～64歳とされる生産労働人口は1995年のピーク時（約8,700万人）と比較して2015年には約7,700万人、2050年までには約4,800万人に減少するため、大きな問題となると考えられています。実際、人を集めたいが人件費の高さを理由に経営が難しくなる状況や人件費を上げたとしても人が集まらず会社の運営ができない状況が日本では生まれており、従来では考えられない事態が起こり始めています。特に人口の多い首都圏

と比較して地方では、すでに様々な問題に直面しています。教育も例外ではなく、2040年に向けた公立学校の再編や統合計画が発表されるとともに、課外活動の在り方まで変わろうとしている実態を見ていますと、教育に携わる人として考えさせられるものがあります。「私学の一教員として私は何ができるのだろうか」と。

変化の激しい時代に生きる中で必要とする力とは。コミュニケーション力・自ら課題を発見する力・課題解決力・イノベーション（創造性）・チームで行動する力（チームワーク、協働）・プレゼンテーション力・グローバルな視点で物事を考える力・豊かな人間性・常に学び続ける力などあげることはできますが、最後は自らをよく知ることにあるでしょう。自分と向き合い、社会と向き合う中で、生徒の皆さんには時代に対応する力を身につけてほしいと願っています。

本校は確かな学力をつける取り組みをするだけでなく、中高大連携教育の実践という付属校であるスケールメリットを活かし、キャリアの視点に立った教育に取り組むことで、公立校との差別化をはかり、皆さんの付加価値を高めてまいります。



入学式

宿泊研修

林間学校

箱根遠足

中学校 EVENT

臨海学校

桜陵祭

秋桜祭

修学旅行



入学式



部勧誘



2年遠足



1年宿泊研修



学長来校



3年遠足



探究



高校EVENT



2年修学旅行



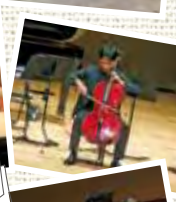
3年農兵節



桜陵祭



体育祭



芸術鑑賞教室

野球応援





法学部 経営法学科
日本大学

岩本 ゆりあ さん 沼津市立第五中学校

Q 進路選択の理由と、志望校合格までに意識して取り組んだことを教えてください。

A 当初は具体的な将来の夢が決まっていなかったため、さまざまな分野の企業で活かせる法律とビジネスを学びたいと考え、経営法学科を志望しました。複数の進学先で迷いましたが、最も具体的に「ここで学ぶ自分」をイメージでき、自分にフィットしていると感じたことが決め手でした。受験に向けては、高校1年生の頃からテストや成績に一つひとつ真剣に取り組み、3年生で自分が納得できる進路選択ができるよう意識してきました。その積み重ねが、合格につながったと感じています。

Q 受験を振り返って大変だったこと、そこから得た学びを教えてください。

A 進路の選択肢を広げたい思いから、学業や課外活動の両方に力を入れすぎて気持ちが疲れてしまう時期がありました。そこで勉強は分単位で計画を立て、一日の終わりに全て取り組むことができた自分を認めることで、自信を積み重ねていきました。受験期には、家族がいてくれるお茶が心を落ち着かせてくれる存在でした。ラクノス同好会では、テスト前や引退のタイミングを区切りに勉強へ集中し、メリハリを意識して取り組みました。これから受験を迎える後輩には、小さな楽しみを見つけたり、時に自分を認めたり、素直な気持ちを言葉にしたりして、自信やモチベーションにつなげていってほしいです。笑顔で4月を迎えられることを心から願っています！



薬学部 生命創薬科学科
東京理科大学

日大三島中学校出身 一貫生

本間 孝佳 さん 日本大学三島中学校

Q 進学先選択で重視したこと、受験対策について教えてください。

A 進学先は、行きたい学部系統の中で、自分がやりたいことに取り組むやすい環境が整っているかを重視して選びました。学びの内容だけでなく、立地や一人暮らしをすらかどうかといった生活面も含めて、自分に合っているかを考えることも大きなポイントでした。受験対策では、得意科目を安定させることと、苦手分野を最低限の完成度まで引き上げることを意識しました。また、先生や友人に早めに相談したことで学習を効率よく進めることができ、必要に応じて軌道修正できたことも、前向きに受験を乗り越えられた要因だと思います。

Q 受験生活で大変だったこと、日大三島で支えになったことを教えてください。

A 受験生活で最も大変だったのは、苦手分野に継続して取り組むことでした。苦手な科目は楽しさを感じにくく、勉強自体が嫌になることもありますが、少しずつ克服できている自分を実感することで、やりがいを見出せるようになりました。アカデミックコースは生徒数が比較的少なく、他クラスの生徒とも関わりやすい環境です。面接練習を共にする仲間を見つけやすく、先生方も一人ひとりに合わせた丁寧な指導をしてくださりました。これから受験を迎える後輩の皆さんには、一人で抱え込まず先生や友人に素直に頼ることを大切にしてほしいと思います。皆さんの健闘を願っています！



教養学部 アーツ・サイエンス学科
国際基督教大学

神田 心海 さん 秦野市立南中学校

Q 将来の目標と、志望校合格に向けて取り組んだことを教えてください。

A 将来は、国際色豊かなホテルで働くスタッフとして活躍したいと考えています。ICU ではリベラルアーツ教育を通じて、さまざまな背景を持つ人との対話を重ねながら、本当の意味での「おもてなし」を学べると感じ、志望しました。受験に向けては、小論文や面接対策に力を入れ、自分の考えを分かりやすく言語化することを意識しました。ICUの面接では幅広いテーマが問われるため、日頃から一つの分野に偏らず、自分の意見を持つよう心がけていました。受験前日に担任の先生からかけてもらった「神様は出来ないことは与えないから面接練習通りやっておいで」という言葉が背中を押してくれ、本番では落ち着いて臨むことができました。

Q 日大三島での経験を通して最も成長したことは何ですか？

A 日大三島での経験の中でも、1年間の留学は大きな成長につながりました。留学先では、自分から行動しなければ英語力も経験も伸びないため、毎日が挑戦の連続でした。思うようにいかず落ち込むこともありましたが、その分、やり遂げた時の達成感は大きく、自信につながりました。この経験を通して、興味を持ったことには臆せず挑戦する姿勢が身についたと感じています。



薬学部 薬学科
日本大学

高橋 優太 さん 沼津市立原中学校

Q 進学先を選んだ理由と、志望校合格までに工夫したことを教えてください。

A 総合大学の中にある薬学部で、他学部の学生とも交流しながら学べる点に魅力を感じ、進学先を決めました。卒業後の就職支援が充実しており、医療機関や産業界と連携した実践的な学びを通じて、将来は医薬品開発や健康ケアの分野で社会に貢献できる力を身につけられると考えたからです。受験期は、周囲が部活に打ち込む中で勉強に集中することが大変でした。モチベーションを保つために、クラスの友人と図書館に通い、一緒に勉強することで互いに刺激を受けながら取り組みました。場所を変えて気分転換をするなど、自分なりの工夫を重ねたことが合格につながったと思います。

Q 日大三島での学校生活や受験を通して、どのような成長がありましたか？

A 「自分に合ったやり方を見つける力」が身についたと感じています。夏まで部活動を続けながらの受験準備だったため、短い時間で結果を出す必要があり、自分に合う勉強方法や時間の使い方を試行錯誤しました。定期テスト前には部活の仲間と練習後に学校に残って勉強したり、バス移動などの隙間時間を活用したりと、状況に応じて学習スタイルを調整しました。この経験から、物事には人それぞれ合った方法があり、それを見つけることが成果につながる最適な道だと学びました。



法学部 法律学科
明治大学

日大三島中学校出身 一貫生

兼井 美侑 さん 日本大学三島中学校

Q 将来の夢と、志望校合格までに大切にできたことを教えてください。

A 私の将来の夢は弁護士になることです。明治大学法学部には、法科大学院と連携した一貫教育を行う法曹コースがあり、法社会学に関する科目やゼミナールも充実している点に魅力を感じ、志望しました。受験期は不安を感じることも多くありましたが、家族や友人、先生方に相談することで気持ちを切り替えてきました。思うような結果が出ない時も、基礎を疎かにせず、分からないところは理解できるまで何度も復習を重ねました。「この大学で学びたい」という強い気持ちを持ち続け、前向きに努力を重ねたことが合格につながったと感じています。

Q 日大三島の進路指導で印象に残っていること、後輩へのメッセージをお願いします。

A 模試の成績が伸び悩み、勉強の進め方や進路について迷っていた時に、先生に相談しました。基礎を固めるための学習内容や計画の立て方、使用する問題集について親身にアドバイスをいただき、前向きな気持ちで勉強に取り組めるようになりました。放課後や休日に教室を開放してくださったことも、集中して学習する上で大きな支えでした。これから受験を迎える後輩には、日々の積み重ねを大切にしてほしいです。小さな目標を立て、それを継続することで、すぐに結果が出なくても確実に力になります。自分を信じて、最後まで頑張ってください。応援しています！



スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科
立命館大学

齋藤 雄大 さん 下呂市立萩原北中学校

Q 志望校の選択から合格までのポイントを教えてください。

A 志望校合格の一番の要因は、アメリカンフットボールに挑戦したいという強い気持ちだったと思います。高校時代は野球に取り組んでいましたが、アメリカンフットボールの方が自分の良さや特徴をより活かせると感じ、新しい競技に挑戦することを決めました。また、学業面でもより高いレベルに挑戦したいという思いがありました。この決断に至るまで悩むことも多くありましたが、自分の思いを整理し、面接ではその強い気持ちが伝わるよう意識して話しました。その姿勢が評価され、合格につながったと感じています。

Q 部活動と学業の両立を通して、自身にどのような変化がありましたか？

A 部活動を通して、最後まで諦めない粘り強さや、次に何をすべきかを自分で考えて行動する力が身につきました。指示を待つのではなく、自分から動く姿勢は、競技だけでなく私生活にもつながる大切な力だと感じています。部活動と勉強の両立では、放課後に十分な復習時間が取れない分、授業中にしっかり理解することを意識しました。ワークや先生が用意して下さるプリントを活用し、効率よく学習することを心がけました。また、練習の疲れを翌日に残さないために、睡眠をしっかり取るなど体調管理も大切にしていました。

進路状況（学校推薦型選抜・総合型選抜）

※数字等はすべて令和8年2月1日までのものです。

令和7年度卒業生進路状況 卒業生551名（令和8年3月卒業予定）

区分	日本大学							国公立大学				他私立大学				準大学		専門職大学		専修各種学校		未定その他
	大学			短大		専門		大学		短大		大学		短大		大学	短大	大学	短大	学校推薦	総合・一般	
	学校推薦	総合	校友	学校推薦	総合	学校推薦	総合	学校推薦	総合	学校推薦	総合	学校推薦	総合・一般	学校推薦	総合・一般							
合格者数	338	3	1	2	0	3	0	2	0	0	0	60	52	4	3	1	0	0	0	10	25	
進路決定者数	335	1	0	2	0	3	0	2	0	0	0	58	44	2	3	1	0	0	0	9	23	
(合計)	336			2		3		2		0		102		5		1		0		32		68

日本大学合格者数（令和7年度卒業生の日本大学合格者数）※法学部は2部を含む

各学部内訳

学部	大学																短期大学部			専門	総計	
	法	文理	経済	商	芸術	国際関係	危機管理	スポーツ科	理工	生産工	工	医	歯	松戸歯	生物資源科	薬	小計	三島	船橋			小計
総合型選抜	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
学校推薦型選抜	31	48	36	34	6	40	6	2	32	28	2	0	1	0	63	9	338	2	0	2	3	343
校友枠選抜	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
合計	31	48	36	34	8	40	6	2	32	30	2	0	1	0	63	9	342	2	0	2	3	347

現役生の大学合格者数（大学別）※日本大学の合格者人数には短期大学部も含む

国公立大学		私立大学											
筑波	1	日本	344	東京女子医科	1	鎌倉女子	2	桜美林	1	大妻女子	1	天理	1
都留文科	1	国際基督教	1	東京薬科	2	桐蔭横浜	2	山梨学院	1	拓殖	1	東京有明医療	1
		上智	1	日本医科	1	女子美術	2	産業能率	1	中部	1	明海	1
準大学		東京理科	5	北里	1	昭和女子	2	実践女子	1	帝京	1	立正	1
防衛大学校	1	明治	3	順天堂	3	日本女子体育	2	尚美学園	1				
		中央	3	東京電機	1	日本体育	2	昭和音楽	1	短期大学・短期大学部		海外の大学	
		立教	2	東京都市	1	明治国際医療	2	湘南鎌倉医療	1	関西外国語	2	ネブラスカカーネー校	1
		同志社	1	名古屋外国語	2	麻布	1	城西国際	1	常葉	1	マサリク	1
		立命館	2	東京医療保健	1	杏林	1	城西	1	山野美容芸術	1		
		津田塾	1	東洋	3	亜細亜	1	神戸学院	1	小田原	1		
		東京女子	2	常葉	6	愛知学院	1	神奈川工科	1	中日本自動車	1		
		日本女子	1	国際医療福祉	4	関東学院	1	聖徳	1	東京歯科	1		
		成蹊	1	玉川	4	京都外国語	1	静岡理工科	1				
		明治学院	4	帝京平成	4	共立女子	1	洗足学園音楽	1				
		立命館アジア太平洋	1	東都	3	駒沢女子	1	相模女子	1				

アカデミックコース合格大学一覧（日大三島中学出身者含む）

国公立大学（短大含む）		私立大学											
都留文科	1	準大学	日本	12	明治	1	同志社	1	明治学院	1	麻布	1	
		防衛大学校	1	上智	1	中央	1	東京女子	2	東京薬科	1	常葉	1
				東京理科	5	立教	1	日本女子	1	日本医科	1	実践女子	1

日大三島中学出身者合格大学一覧

国公立大学		私立大学									
		準大学	日本	18	明治	1	同志社	1	女子美術	2	
		防衛大学校	1	東京理科	2	中央	1	常葉	1	東都	1

祝 全国大



新聞部

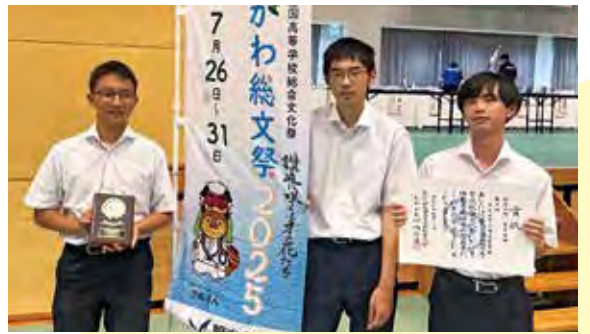


学校の応援団として
がんばってます!

囲碁将棋部



日本一を
目指していきます。



男子テニス部

2年ぶり
25回目の全国選抜
高校テニス大会の
出場です!



地理・歴史部

さらに高みを
目指していきます!



大会出場!



軽音楽部



超主体的部活の
成果です!



放送部

中学放送部は
全国5位入賞!
3年間の成果が実りました!



陸上競技部

U18日本選手権5位入賞!!
3種目での全国高校総体
決勝進出!!
来シーズンは頂点へ!!



応援部チアパート

みんなで勝ち取った
全国大会!
頑張りました!!



※個人での出場であっても部活動として掲載しています。

令和7年度 部活動実績

※結果は令和7年4月1日から令和8年2月1日現在までの記録です。

高等学校

陸上競技部

2-11 吉田 明仁(中郷西中)

令和7年度静岡県高等学校総合体育大会陸上競技大会

男子400m 県1位

第72回東海高等学校総合体育大会陸上競技大会

男子400m 東海2位

第58回静岡県高等学校新人陸上競技対校選手権大会

男子400m 県1位

第28回東海高等学校新人陸上競技選手権大会

男子400m 東海1位

2-4 小澤 湊(大仁中)

第58回静岡県高等学校新人陸上競技対校選手権大会

男子3000mSC 県1位

2-5 古川 真子(清水南中)

第58回静岡県高等学校新人陸上競技対校選手権大会

女子1500m 県1位

女子3000m 県1位

第19回U18日本陸上競技選手権大会

女子1500m 全国5位

令和7年度静岡県高等学校総合体育大会陸上競技大会

男子4×400mR 団体 県1位

第72回東海高等学校総合体育大会陸上競技大会

男子4×400mR 団体 東海1位

第68回東海陸上競技選手権大会 兼

第110回日本陸上競技選手権大会予選会

男子4×400mR 団体 東海1位

第58回静岡県高等学校新人陸上競技対校選手権大会

男子4×400mR 団体 県1位

第28回東海高等学校新人陸上競技選手権大会

男子4×100mR 団体 東海2位

男子4×400mR 団体 東海1位

男子テニス部

3-3 三木 翔太(岩松中)

第94回東海中日選手権大会ジュニアの部 兼

ユニクロ全日本ジュニアテニス選手権大会 静岡県予選大会

ダブルス 優勝(県1位)

2-11 齊藤 蒼士(旭が丘中)

第94回東海中日選手権大会ジュニアの部 兼

ユニクロ全日本ジュニアテニス選手権大会 静岡県予選大会

ダブルス 優勝(県1位)

令和7年度静岡県高等学校新人体育大会テニス競技(団体の部)

団体戦 優勝(県1位)

男子バレーボール部

3-9 小林 陽(三島北中)

国民スポーツ大会 第46回東海ブロック大会バレーボール(6人制)

競技会 兼 第79回国民スポーツ大会東海地区予選会

東海4県4チームリーグ戦

静岡県選抜選手 団体(個人) 2位

ゴルフ部

2025年度 関東高等学校ゴルフ選手権夏季大会 静岡・山梨県予選

男子団体の部 団体 優勝(県1位)

囲碁将棋部

2-4 野田 賢伸(日大三島中)

第56回静岡県高等学校将棋選手権大会 兼

静岡県高等学校文化連盟将棋専門部春季大会

男子個人戦 優勝(県1位)

第56回静岡県高等学校将棋選手権大会 兼

静岡県高等学校文化連盟将棋専門部春季大会

男子団体戦 優勝(県1位)

第49回全国高等学校総合文化祭将棋部門 兼

第61回全国高等学校将棋選手権大会

男子団体戦 全国第5位

軽音楽部

TEENS ROCK IN HAMAMATSU

最優秀賞(県1位)

地理・歴史部

第21回「地域の伝承文化に学ぶ」コンテスト

地域文化研究部門

団体 「最優秀賞」「折口信夫賞」(全国1位)

放送部

3-8 渡邊 朋稔(須山中)

第72回NHK杯全国高校放送コンテスト静岡県大会

アナウンス部門 優勝(県1位)

中学校

陸上競技部

3-B 渡辺 愛菜(富士第二小)

第47回東海中学校総合体育大会陸上競技大会

女子共通走幅跳決勝 第6位

ゴルフ部

2-A 小林 豪兼(松田小)

ヤマハCUP 第26回静岡県ジュニアゴルフ選手権大会

中学男子A 3位(県3位)

1-B 井野上 正循(北山小)

2025年 関東ジュニアゴルフ選手権 静岡県予選

男子12~14歳の部 2位(県2位)

一輪車

3-B 富岡 優衣(長泉南小)

第32回県民スポーツレクリエーション祭 一輪車・演技大会

ソロ演技の部 県1位

2025全日本一輪車競技大会 ベア・グループ演技部門

グループ演技部門(クラスM) 全国3位

囲碁将棋部

3-A 大竹 智也(長泉小)

第46回全国中学生選抜将棋選手権大会静岡県予選

男子個人戦 優勝(県1位)

第46回全国中学生選抜将棋選手権大会

男子個人戦 全国ベスト8

3-B 工藤 啓介(金岡小)

楽待杯第40回全国オール学生将棋選手権戦(個人戦)

個人戦 全国ベスト16

文部科学大臣杯第21回小中学校将棋団体戦静岡県大会

団体戦 優勝(県1位)

文部科学大臣杯第21回小中学校将棋団体戦東日本大会

団体戦 東日本第3位

放送部

3-B 山本 佳凜(三島北小)

第42回NHK杯全国中学校放送コンテスト静岡県大会

アナウンス部門 最優秀賞(県1位)

第42回NHK杯全国中学校放送コンテスト

アナウンス部門 全国出場

2-B 吉岡 邑玲(三島東小)

第42回NHK杯全国中学校放送コンテスト静岡県大会

アナウンス部門 優秀賞(県2位)

第42回NHK杯全国中学校放送コンテスト

アナウンス部門 全国出場

第42回NHK杯全国中学校放送コンテスト静岡県大会

テレビ番組部門 優良賞(県3位)

ラジオ番組部門 優秀賞(県2位)

第42回NHK杯全国中学校放送コンテスト

テレビ番組部門 全国出場

ラジオ番組部門 優良賞(全国5位)

